

一日、二日間で絶対上海を廻りきれないだろう。おおよっぱに見るだけでも時間が足りない。上海南北距離約 120 キロメートルで、東西幅広さは 100 キロメートル；行政エリアが 18 つに分けている、各エリアにそれぞれの特別な文化、歴史観光地及び娯楽施設がある。上海の魅力をもっと発見して体験できるように、一番上海なりの観光地をピックアップして、効率高いルートで遊ぼう！

推薦ルート:

初日: 上海博物館→南京路步行街→上海環球金融中心→濱江大道→黃浦江の夜観光
翌日: 上海青浦朱家角→豫園→上海老舖→淮海路→新天地



SHANGHAI
上海
一泊旅行推薦ルート



上海旅游热线 SHANGHAI TOURIST HOTLINE **962020**



<http://www.shanghaitour.net>
<http://www.962020.com>



<http://www.meet-in-shanghai.net> 上海会展旅游网
<http://www.shanghaikankou.com> 上海旅游网 (日本語)
<http://www.shanghaitrip.net> 上海旅游网 (韓国語)

以上は2010年4月末までの情報である
027ZZR-2010(2010-0921-40000)



Shanghai China
More Discovery More Experience



上海一泊旅行

推薦ルート

初日目



8:00 地下鉄1、2、8号線に乗って、人民広場駅で降りる。もし時間にまだ余裕があれば、緑化面積80%以上も占めている広場で少々逗留して、上海早朝特別な新鮮息吹を味わうこともできる。広場は上海市政府大厦を中心にして、**上海博物館**のほか、上海城市規画館、上海大劇院などのシンボル建築物もある。上海博物館の建築外観は「天は丸い、地は四角い」というコンセプトで、中国五千年の悠久文化の象徴意味を持っている。

住所：人民大道201号 電話番号：(21)6372-3500
 交通：地下鉄1号線、2号線、8号線人民広場駅
 開館時間：9:00-17:00 入場券不要

11:30 博物館でもう2時間半をかかったと感じていないけど、さっさと次のところへ行かないと。南京路步行街の西側入り口までは、徒歩10分間だけの距離で、歩きながら、気に入ったレストランを選んでお昼を食べよう。南京路步行街全距離1200メートルで、毎日300万人ほどこの町で観光したり、買い物したりするので、すごく賑やかで、ぜひ一度行って見よう！



南京東路駅で地下鉄2号線（チケット3元）に乗って、黄浦江を渡って、1ストップで浦東陸家嘴金融エリアに到着。その超高層ビルがいっぱいあって、見上げるうちにいつの間にか首が痛くなってくるかもしれない。

14:30 高さ492メートルで101層もある**上海環球金融中心**に行き、世界トップの展望台に登ろう！474Mの100階にある観光回廊は55Mの長さで、ガラス製の床から地面にある自動車や歩行者を覗くと、まるで両足が空に浮いているような感じがする。

営業時間：8:00-23:00（22時までにご入場可能）
 入場券：94/97/100階—150元；
 94/97階—110元；94階—100元
 交通：地下鉄2号線 陸家嘴駅から出て歩行5分間程度

16:00 上海環球金融中心から出て、20分間ほど歩いて、黄浦江岸辺の**濱江大道**に到着。ここに眺めると、バンド両側のいい景色を全部楽しめる。夕べから夜まで、思い切ってリラックスしてからフェリーに乗って夜上海の輝きを見てみよう。

開放時間：8:00-23:00
 交通：地下鉄2号線 陸家嘴駅、バンド観光トンネル、浦江遊覧チケット売場

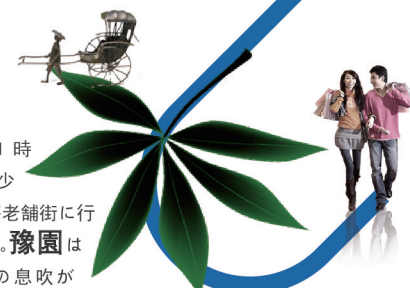


翌日目

7:30 に出発、青浦にある千年歴史を持っている**朱家角古町**に行く。年代悠久の橋や、川辺の民宅、美味しい本土料理、どっちでも都市の騒ぎと生活の煩悩を忘却させる。

交通：上海旅行集散中心旅行4号線（集合点：上海体育館5番階段側）；沪朱線（老成都北路、延安中路近く）、沪朱高速專線（普安路）

電話：(21) 5924-0077（朱家角旅行問い合わせ）
 チケット：80元/人、60元/人、30元/人



14:00 帰り道車で1時間ぐらいかかるうちに少し昼寝して、豫園と上海老舗街に行けばもう込んでいない。**豫園**は明清建築と伝統市場の息吹が漂っている。ここは上海中に一番中国らしいところと認められて、上海地方民俗文化体験する観光地である。

住所：安仁路137号 電話番号：(21)6326-0830
 交通：地下鉄10号線 豫園駅

上海老舗は「廟前大街」の名前だった。上海一番早い時期の銭荘、金銀細工店、レストランはここに生まれてきた。現在「童涵春」、「老同盛」、「裘天宝」、「老上海茶馆」、「德順酒菜館」、「丁娘子布庄」、「荣顺馆」、「博印堂」などの百年老舗は全部両側に位置していて、老上海の「清明上河図」に構成している。

住所：方浜中路

17:00 夕方、上海人家のところは炊煙が立ち昇る。20分歩いて淮海路東側に着いて、今の淮海路は観光、散歩と買い物にちょうどいい。大上海時代の広場の百貨から太平洋百貨の淮海店まで、左側に曲がって新天地につく。あそこで深夜まで止まってもいい、そして止まったかが絶対感じられる。**新天地**の建築はできるだけ19世紀の模様を保留している。内部は21世紀の現代人の生活式の装飾して、上海の流行の印である。

住所：太倉路181弄
 電話番号：(21)6311-2288
 交通：地下鉄1号線黄陂南路駅、地下鉄10号線新天地駅

